

平成29年7月31日

第四管区海上保安本部

広報資料

【広報案件】

歴史探訪 ～海図でめぐる明治の愛知・三重～
「第146回水路記念日 企画展」の開催

【お知らせ】

平成29年6月の船舶事故・人身事故発生状況（速報）

問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 五藤 公威

電話 052(661)1611 内線 2510



平成29年7月31日

第四管区海上保安本部

歴史探訪 ～海図でめぐる明治の愛知・三重～

「第146回水路記念日 企画展」の開催

第四管区海上保安本部では、海上保安庁が保管する歴代の海図で明治のころの愛知・三重をめぐる企画展を9月5日(火)から9月11日(月)にかけて開催します。この企画展は、水路記念日(9月12日)にあわせ、毎年行っているもので、今年は、「イオンモール名古屋みなと(名古屋市港区)」において、近代的な海図作製の歴史がはじまった明治のころの海図と最新の海図を展示するとともに、海洋調査に関するパネル等の展示も併せて行います。

企画展では、明治6年に作成された三重県礪浦(さざらうら)[五ヶ所湾]の海図のほか、「海の伊能忠敬」と呼ばれた三重県出身の初代水路部長 柳樽悦(やなぎ ならよし)の紹介、海上保安庁がこれまで実施した大陸棚調査などの成果を活用した3D海底地形図を展示します。

1. 展示期間

平成29年9月5日(火)から9月11日(月)まで
時間 10:00～17:00

2. 開催場所

イオンモール名古屋みなと スプリングコート
名古屋市港区品川町2-1-6

3. 展示内容

- (1) 明治のころの愛知・三重の海図(複写)
- (2) 三重県出身の初代水路部長 柳樽悦の紹介
- (3) 3D海底地形図
- (4) 海洋情報業務紹介

4. 取材

現地取材を希望される社は、取材予定日の前日までに、上記問い合わせ先までご連絡下さい。

[第 146 回 水路記念日 企画展]

歴史探訪

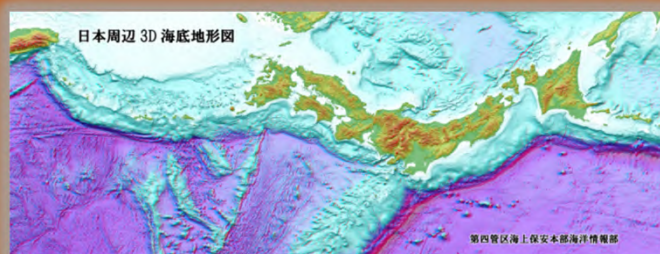
～ 海図でめぐる明治の愛知・三重 ～



伊勢之國礮港之圖 明治6年刊行



柳 檣悦(やなぎ ならよし、1832-1891)
津藩士、初代水路局長、水路部長



展示期間 平成29年9月5日(火)～9月11日(月)

時間 10:00～17:00

開催場所 イオンモール名古屋みなと スプリングコート
愛知県名古屋市港区品川町2丁目1番6号

- 展示内容
- (1) 明治のころの愛知・三重の海図
 - (2) 三重県出身の初代水路部長 柳 檣悦の紹介
 - (3) 3D海底地形図
 - (4) 海洋情報業務紹介

連絡先
第四管区海上保安本部
海洋情報部監理課
名古屋市港区入船2-3-12
電話 052(661)1611 内線2510

水路記念日について

「水路記念日」とは、海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局創立の日です。

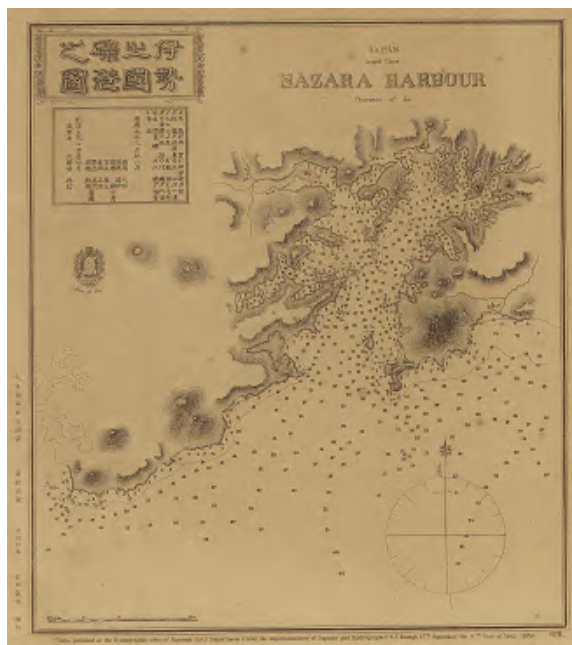
明治2年(1869年)8月に兵部省が設置され、明治3年3月には兵部省の下に海軍掛と陸軍掛の分課が設けられました。

明治4年(1871年)7月28日に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、海軍部に第1秘書局、第2軍務局、第3造船局、第4水路局(水路局)、第5会計局の5つの局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局が初めて誕生しました。

明治初期、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩(現三重県)出身の初代水路局長 柳檜悦(やなぎならよし)(右写真)は「水路事業の一切は海員的精神に依り、徹頭徹尾外国人を雇用せず自力を以て、外国の學術技芸を選択利用し、改良進歩を期すべし」を大方針として、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。



柳檜悦(やなぎならよし、1832-1891)
津藩士、初代水路局、水路部長、貴族院議員、
大日本水産名誉会員。



「伊勢之國磯(さざら)港之図」

わが国における近代的な海図の第1号は、明治5年9月(旧暦8月)に完成した「陸中国釜石港之図」です。

愛知県・三重県に関する最も古いものとしては、「伊勢之國磯(さざら)港之図」(1873年(明治6年)9月刊行(右図))があり、これは三重県五ヶ所湾の海図で1862年からの幕府海軍の測量によるもので、のちの初代水路部長柳檜悦(当時は津藩士)らにより行われ海図が作成されました。

昭和26年(1951年)に海上保安庁が水路局の誕生した7月28日を水路部の創立の日として制定しましたが、昭和46年(1971年)の水路部創立100周年を期して、明治初期に用いられていた太陰暦(旧暦)の7月28日を現在使用されている太陽暦に換算した9月12日を水路部の創立の日として「水路記念日」を制定しました。

水路局から海洋情報部への変遷

水路局は、兵部省に設置されて以来、所属省庁が移り変わって現在に至っています。移り変わりの中で、水路部の観象台業務の移管が行われ、天文関係は文部省へ、気象関係は内務省へ移管されました。

明治	4年(1871年)	9月12日	(旧暦 7月28日)	兵部省海軍部水路局
"	5年(1872年)	4月 5日	(旧暦 2月28日)	海軍省水路局
"	5年(1872年)	11月13日	(旧暦10月13日)	海軍省水路寮
"	9年(1876年)	9月 1日		海軍省水路局
"	19年(1886年)	1月29日		海軍水路部(海軍省外局となる)
"	21年(1888年)	6月27日		水路部(海軍の冠称廃止)
昭和	20年(1945年)	11月29日		水路部(運輸省外局となる)
"	23年(1948年)	5月 1日		海上保安庁水路局(海上保安庁設置 ・内部機関となる)
"	24年(1949年)	6月 1日		海上保安庁水路部
平成	14年(2002年)	4月 1日		海上保安庁海洋情報部 (現在に至る)

【問い合わせ先】

交通部安全対策課

安全対策課長 間部 政道

電話 052-661-1611（内線 2640）



平成 29 年 7 月 31 日

第四管区海上保安本部

平成 29 年 6 月の船舶事故・人身事故発生状況（速報）

1 船舶事故

- (1) 6月の船舶事故は10隻（前年7隻）で、これら事故に伴う死者・行方不明者の発生はありませんでした。
- (2) 船種別では、プレジャーボートが6隻、貨物船が2隻、漁船及びタンカーがそれぞれ1隻となっています。
事故種類別では、衝突及び機関故障がそれぞれ4隻、浸水及び推進器障害がそれぞれ1隻となっています。
- (3) 船舶事故10隻中、小型船舶が7隻と多くを占めました。
小型船舶の事故では、2隻の水上バイクが縦列で航走中に、後方の水上バイクが急旋回した前方のバイクを避けきれず衝突し、2名が負傷するといった事故などが発生しています。
- (4) 今年6月までの船舶事故の累計は67隻（前年50隻）で、前年に比べ17隻増加しています。

2 人身事故

- (1) 6月の人身事故は10人（前年12人）で、これら事故に伴う死者・行方不明者は4人（前年5人）でした。
- (2) 事故の内訳としては、乗船者の人身事故が1人（前年6人）、マリンレジャーに伴う海浜事故は3人（前年2人）、マリンレジャー以外の海浜事故が6人（前年4人）となっています。
- (3) マリンレジャーに伴う海浜事故は、サーフィン、ボディボード及びスキムボード中の溺水、負傷事故でした。
- (4) 今年6月までの人身事故の累計は81人（前年74人）で、前年に比べ7人増加しています。